

戸田市次世代育成支援行動計画（後期計画）検証の概要（案）

戸田市次世代育成支援行動計画（後期計画）は、「次世代育成支援対策推進法」に次世代育成支援に集中的・計画的に取り組むべきとして定められた 10 年間の後期に当たる平成 22 年度から 5 年間の計画で平成 26 年度をもって計画期間終了。

【後期計画の結果概要】

後期計画では、前期計画を踏襲し、子どもと大人のパートナーシップによる地域コミュニティづくりを目指しつつ、「保育サービス提供基盤の充実」を中心テーマとして掲げ、以下の 4 つを重点的に推進する施策とした。

- 認可保育所の定員拡大
- 地域子育て支援拠点事業の拡充
- 学童保育室事業の拡充
- 一時預かり事業の充実

これらの重点施策をはじめ、各施策・事業の目標値を設定し、認可保育所及び学童保育室の新規開設や地域子育て支援拠点の増設など取り組み、計画の最終年度の平成 26 年度において、重点施策及び各施策においておおむね目標値は達成（別添資料）。

また、計画事業として当初 177 事業をあげており、5 年間の進行管理の中で

- ・新規事業・・・6 事業
- ・拡大継続事業・・・73 事業
- ・廃止事業・・・8 事業

という取組結果であり、継続して関係各課とも各事業を実施している状況。

【後期計画の検証と子ども・子育て支援事業計画への継承】

重点施策である保育サービス量をはじめ、各施策・事業ともほぼ目標値を達成しており、また、計画事業においても、各事業とも拡大継続など事業の充実が図られるなど、取り組みについては一定の成果を挙げたと考えられる。

しかしながら、依然として少子化及び子育て家庭を取り巻く環境が厳しいことから「子ども・子育て支援法」が施行され、すべての子育て家庭に必要な教育・保育及び子育て支援を提供するとした「子ども・子育て支援新制度」が施行された。

本市においても、今後も児童人口の増加が見込まれ、保育需要や多様な子育て支援策の充実を図る必要があることから「戸田市子ども・子育て支援事業計画」を策定、次世代育成支援行動計画の基本理念や事業等を継承し、引き継ぎ総合的な計画として取り組んでいく。